

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年11月25日 事業所名 すまいる・キッズ 職員数 5 回収数 5 回答率 100%

		チェック項目	はい	いいえ	無記入	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			グループによっては活動を分けている 個別療育の内容によっては体育館を活用している。安全確保のため複数名の職員で対応している	
	②	職員の配置数は適切である	5			大人の人数が多くなりすぎることのない様、必要に応じて出入りしている	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		1	バリアフリーを必要とする利用者はいないがゆくゆくは誰もが過ごしやすい環境になればいいと思う 完全バリアフリーではない 集団医療では座席の固定や視覚的標示により個々の場所を分かりやすくしている。 仕度ボードや日課を視覚的に提示により見通しや積極的取組、自立につながるようになっている バリアフリー化は建物の構造上難しい。パーテーションやロールスクリーン、フロアマット等を使用し視覚的にわかりやすい環境作りをしている	建物の構造上、現状バリアフリー化は難しいので、ロールスクリーンやフロアマット、棚等を使い、視覚的にわかりやすい環境作りをしている。 体育館（地下）とは緊急時を含め、常に内線で連絡が取れる。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			利用する子どもに応じて設定を変えている 療育枠ごとの清掃と消毒をしている 子どもの関心や欲求にあった玩具、遊具の種類と量、空間を設定している 休日を含めた職員の健康状態の把握と週2回の抗原検査を行い、併せて空気清浄機や除菌ボックスを使用し感染防止に努めている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			グループ療育後の振り返りやケース検討会には全職員が参加し情報共有や意見交換を行っている	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	外部による評価があってもいいと思う 区の指導検査により定期的な業務内容の見直しや改善を行っている	法人内他事業所は、第三者評価を受けている。 今後、第三者評価を含めた外部評価の受け入れについては検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		外部研修及び事業所内研修を計画的に受講して、職員間で情報の共有をしている 専門性を高める為の外部研修への参加と全職員への報告の機会を設けている。法人としてもメンタルヘルス研修を実施している	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	1	アセスメントの実施、ニーズ、課題の聞き取り分析は行っているが適切か否か、十分か不十分かは自己判断できない 保護者との日常的会話の中での聞き取りと面談の中でアセスメントをしている 必要に応じてツールを使用している	保護者同意のもと提出された発達検査結果や、保護者からの要望や課題の聞き取り、アセスメントを基に個別支援計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		全員ではないが半年を目安にツールを使用したアセスメントをしている	標準化されたアセスメントツールの導入を試行、検討している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		各々の専門性を活かしく分担している	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	3	2	適宜組み合わせることに努めているがケースバイケースで計画作成まではしていない 今年度、個別療育枠の児童を対象に夏期集団療育を実施した。 集団の中で個別の時間を設けている 年度途中での枠（個別or集団）の変更はしていない 夏休み期間に希望者を募り、個別療育利用児4、5名参加のグループ療育を実施した	個別療育利用児対象に、夏期グループ療育を複数回実施した。来年度も実施予定。 集団療育では、活動内容によりグループを二つに分けた少人数の療育も行っている。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5				

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5				
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	3	1	開催自体が少ない サービス担当者会議に該当する案件がなかった 電話や訪問の受入れで対応している 該当する利用児がいない為、召集されていない	サービス担当者会議に該当するケースはなかった。 相談支援事業所とは、積極的な訪問の受け入れや対面及び電話での情報交換を行っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5			保健相談所、こども家庭支援センターとの連携を行っている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		1	4	医ケア該当しない	現在、該当児はいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		1	4	医ケア該当しない	現在、該当児はいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1		必要な書類の作成や希望があれば見学にも行く用意がある	保護者同意のもと、情報共有に必要な書類の作成や、訪問の受け入れ、見学を行っている。 今後、更に積極的な連携を図っていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1		必要な書類の作成をしている 就学支援シートの積極的な活用の周知と活用を行っている	今年度『小学校への就学について』を作成し、保護者への情報提供を行った。併せて、就学支援シートの周知と活用を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4		他の事業所の活動を知る機会がもう少し増えると良いと思う センターの計画や資料は参考になっているが直接の連携はない 他施設の様子や支援目標は保護者を通じて伺い、役割分担ができるようにしている	他の児童発達支援事業所やこども発達支援センターの講師による研修に参加し、研修報告の場を設け全職員で情報共有をしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		コロナ禍で難しいが、職員にとっても気づきのきっかけになるので機会があれば良い	現在休止している、法人内保育園の地域交流事業(園庭開放)への参加再開時期を検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3		管理者が会議に参加している 練馬区障害福祉サービス事業者連絡会に代表者が参加している	引き続き、練馬区障害福祉サービス事業者連絡会に代表者が参加し、区内の福祉サービス事業所との情報交換や連携に努めていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		5		保護者が求めている対応が出来る様になる為にも取り入れてほしい プログラムとしては行っていない	ペアレント・トレーニングやそれに準じた研修を受講予定。	

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5				
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			コロナ禍でできる範囲で行っている 感染防止を優先しグループ療育、個別療育、それぞれに保護者会を実施した	
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5				
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			ブログや手紙で月に一回ではあるが行っている 月1回のおたより発行 ホームページでの情報発信をおこなっている 毎月「キッズだより」の発行とHPへの掲載を行っている	
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意している	5			書類の管理は鍵付き書庫で行っている 写真の取り扱いは保護者に承諾を得ている	
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			紙面で渡すようにしている 通訳を必要に応じて手配する準備がある	
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		コロナ禍の為難しい状況 事業所単独では行っていないが法人として行っている（ひろば、こども食堂、カフェ）	法人内の子育てひろば、コミュニティカフェ、こども食堂を利用していただけるよう、チラシの掲示やパンフレットの積極的な活用をしていく。
	非常時等	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5			「大規模災害発生時の対応について」を保護者に配布するとともに年間複数回の171、Twitter体験利用訓練を行っている
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				
㉛		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5				
㉜		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	2	食事提供はしていない 感触遊びに使用する際は保護者に承諾を得ている 該当せず	食事提供をしていない為、該当児はいない。 利用申込票にアレルギーに関する記入欄を設けている。感覚遊び等で使用する際は、事前に保護者から聞き取り、承諾を得るようにしている。

の 対 応	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			年2回の研修とチェックリストにそった支援の振り返りをしている 委員会を設置している 年2回の虐待防止研修を実施している	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	3		記載の仕方について検討中 拘束を必要とする案件はない 身体に触れて制止する場面は可能性としてある 身体拘束適正化のための指針を整備し、年2回の研修を実施している 支援計画に記載が必要なケースは現在のところなし	『身体拘束適正化のための指針』の読み合わせを含めた研修を全職員で行い、理解を深めた上で、保護者にも丁寧な説明をしていきたい。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。